

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている やや良く なっている	-	-	-
		スーパー（店 長）	販売量の動き	・ガソリン高騰の影響は今のところ、まだ出ていない。しかし、昨年値上げたカレーやパンなどの食品は、買上点数が落ちている。
		衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・1月はバーゲン月であり、秋口から続いているメンズのアウターの高額商品志向が持続しており、1か月を通して数字が伸びた。
		乗用車販売店（従業員） 通信会社（管理 担当）	来客数の動き 販売量の動き	・昨年末に発売された新型車効果もあり、来客数が多くなり販売量も増え始めて、良くなっている。 ・当社、競合他社共に、新サービス・新端末等が販売開始になり販売量も良く、業界全体が活気づいている。
変わらない	変わらない	百貨店（売場担 当）	販売量の動き	・前半は前年をクリアして、まずまずの滑り出しであったが、中旬から下降して前年並みとなっている。
		コンビニ（経営 者）	販売量の動き	・3か月前とほぼ同じ販売量である。
		コンビニ（エリ ア担当）	単価の動き	・特に大きな変化はない。客から景気が悪いという声も聞かれない。一方で景気が良いという話も聞かない。
		家電量販店（営 業担当）	単価の動き	・年末に比べ、主力商品の販売がワンランク下のものになっている。客単価は例年に比べ、全体的に5%以上低下している。
		一般レストラン（経営者）	単価の動き	・ガソリンの値上げ、サブプライム問題の影響で、ますます財布のひもが固くなっている。
		観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・旅行業界の景気動向は、昨年ごろから横ばいであり、低迷している。
		観光名所（経営者）	来客数の動き	・観光客及び食事予約数は少し増えている。
やや悪く なっている	やや悪く なっている	商店街（代表 者）	来客数の動き	・急激な気温の低下で中央商店街への客足が落ちている。郊外に流れている様子もなく、消費が冷え込んでいる。
		百貨店（営業担 当）	それ以外	・来客数及び売上高共に前年同月を下回った。アクセサリー・婦人靴等が前年増となったが、ファッション衣料・ブランド商品が低調である。
		スーパー（店 長）	販売量の動き	・ガソリンの高騰に続いて商品が値上がりしているの で、客単価・買上点数が減ってきている。
		スーパー（店 長）	お客様の様子	・マグロの刺身等は、少量パック・低価格のものしか売れなくなってきたり、大型パック及び中トロ等の単価の高い商品は売れなくなっている。
		スーパー（財務 担当）	販売量の動き	・今年に入って既存店の売上が前年を下回っている。物価上昇の影響で消費に慎重さがうかがえる。
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・1月の冬物セールは、スタート直後に一時的に集客があったが、中旬からの再値下げに対して客の反応は鈍く、来客数・買上点数・客単価で前年を下回っている。
		乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・客から台替時期の延期や再検討の話題がよく出る。買い控えの傾向が強く現れている。
		乗用車販売店（管理担当）	販売量の動き	・見積り依頼も激減している。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・昨年後半からの商品の値上げで単価は上昇しているが、今年に入り来客数の伸びが鈍り、売上につながらない。
		都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・来客数が減っている。これに加えて、単価が昨年よりも悪いという状況になってきている。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・旅行シーズンでなく年末年始で出費もかさんでいるため、販売もあまり伸びなかった。
		タクシー運転手	販売量の動き	・規制緩和でタクシーが70台前後、増車になって労働条件等が悪くなっている。客との会話でも良い話はない。
		タクシー運転手	単価の動き	・回数と1回当たりの単価が伸びなかった。特に年明けの顧客の利用も下降した。
		通信会社（支店 長）	販売量の動き	・客の反応が鈍い。

		観光名所（職員）	来客数の動き	・例年より観光客が減っている。
		ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・来客数が減っている。
悪く なっている		商店街（代表者）	来客数の動き	・成人式後の来街者数が激減している。寒い日も続いたこともあるが、学生だけが通行しているという状況が続き、大変厳しい状態になっている。
		一般小売店〔乾物〕（店員）	単価の動き	・年末年始の書き入れ時の売上が非常に悪かった。
		一般小売店〔酒〕（販売担当）	単価の動き	・ビール4社の価格改定（値上げ）が始まるが、飲食店も厳しく納入価格改定には、全く取り合ってもらえない。
		一般小売店〔書籍〕（営業担当）	お客様の様子	・ガソリンや食品などの値上げのニュースを頻繁に聞くようになってから、客の財布のひもは非常に固くなった。
		その他飲食〔ファーストフード〕（経営者）	お客様の様子	・食材コスト・ガス単価・人件費の高騰の影響が出ている。
		タクシー運転手	来客数の動き	・昨年、タクシーも値上がりして、客が減っている。新年会もなく飲みに出る人も少なく、売上が伸びない。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・来客数・売上共に過去最低である。
		美容室（経営者） 設計事務所（職員）	来客数の動き 競争相手の様子	・値上げが続いて消費意欲が薄れ、来客頻度が低下している。 ・競争相手（会社）の人員削減が顕在化してきている。道路特定財源の懸案は、業界にとって大きな不安、不透明感を助長している。
企業 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	-	-	-
変わらない		一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・年初からの景気不安情報によりマインドは冷えているが、クレーンの実稼働は良好である。ゼネコン・物流大手は、人手不足と資材の大型化から機械の絶対量確保に注力している。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・企業からの引き合いは増えているが、受注には至っていない。
		建設業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・依然として受注できても満足できる受注価格ではない。
		金融業（融資担当）	取引先の様子	・土木関連については、やや落ち着きがみられるが、宿泊関連は、稼働率が40%を切るホテルが多数出ている。
やや悪く なっている		木材木製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・建築基準法の改正の影響で、出荷量が落ちている。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・小売価格の修正交渉が続いているが、なかなか理解が得られず、採算がとれない。
		一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・今年に入り、引き合いが極端に少なくなってきた。排ガス規制車の乗り入れ禁止地区（関東、東海・関西の一部）以外では中古車需要が強く、顧客間の売買等も多く見られ景気の悪さを反映している。
		建設業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・競争が激しく、受注しても適正な利益が確保できない。
		輸送業（支店長）	受注量や販売量の動き	・取引各社の初荷は例年どおり出たが、前年の数量を大きく下回り、その後も出荷量は減少している。
		通信業（支店長）	受注量や販売量の動き	・法人の特需で販売量は増加しているが、それと低調である。
		通信業（営業担当）	それ以外	・建設業関係のマネージャーから「マンション・アパート等の新築工事は回復が見られるが、一般住宅・2階建ては着工件数が少なく、昨年6月の改正建築基準法の影響で仕事量、単価共に厳しい状況が続いている」と聞く。
		不動産業（経営者）	取引先の様子	・同業者から非常に調子が悪いと聞いている。
	広告代理店（経営者）	受注量や販売量の動き	・原価上昇がインキや用紙関係に反映され始めたが、売価には反映されていない。	

		公認会計士	取引先の様子	・顧客の試算表・決算書等で前月及び前年との比較では、ほとんどの業種において、売上が下落し原価率が上昇して利益がその分だけ少なくなっている。 ・今回の冷凍食品の影響が出ている。
	悪くなっている	食料品製造業（従業員） 輸送業（役員）	それ以外 受注価格や販売価格の動き	・原油価格が安定しないため、価格に転嫁できず、全体の売上高も低迷している。
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	-	-	-
	変わらない	職業安定所（職員） 職業安定所（職員）	求人数の動き 求人数の動き	・12月の有効求人倍率は、前月を0.04ポイント上回る0.81倍となった。 ・求人数を前年同月と比べると、ここ半年ほど2ケタ以上のマイナスが続いている。
	やや悪くなっている	人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・特に事務処理系が下降気みである。
		人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・前年と比較して求人数が減っている。
		求人情報誌製作会社（編集者）	求職者数の動き	・四国の企業への就・転職希望者は減少しているため、地元企業が求人にかける広告予算が削減されている。
		民間職業紹介機関（所長）	雇用形態の様子	・特に事務系において正社員の割合を減らし、派遣社員で対応しようとする企業が増えてきている。
悪くなっている	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・雇用保険適用事業所数は、減少率が増加している。	